

科目名	鍼灸理論 3							年度	2026
英語科目名	Acupuncture and Moxibustion Theory 3							学期	後期
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	宮本陽平	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】
この科目では鍼灸施術の治効機序を理解することを狙いとする。基礎実験を参考に、鍼灸刺激による反射機構や、炎症反応の概略を理解することで、起こりうる現象を理解する。また、鍼灸関連学説を理解することにより、鍼灸治療の特徴や合目的性について科学的に捉える習慣を身につけることが目標である。また、これら学習する内容を、患者や他の医療従事者に対して、施術の効果を科学的に説明できるようにすることを目標とする。

【科目の概要】
鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。

【到達目標】
A：刺激と反応について理解している
B：自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響について理解している
C：生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激について理解している
D：関連学説について理解している

【授業の注意点】
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

評価基準＝ルーブリック					
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	鍼灸刺激によって生じる生体反応を深く理解し、鍼灸刺激の合目的性について説明することができる	鍼灸刺激によって生じる生体反応を理解し、鍼灸刺激の合目的性を考えることができる	鍼灸刺激によって生じる生体反応を理解し、鍼灸施術との関係を考えることができる	鍼灸刺激によって生じる生体反応を認識している	鍼灸刺激によって生じる生体反応について認識していない
到達目標 B	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	自律神経について認識している	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響について認識していない
到達目標 C	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	生体防御機構について認識している	生体防御機構について認識していない
到達目標 D	関連学説を深く理解し、鍼灸刺激の特性について説明することができる	関連学説を理解し、鍼灸刺激の特性を考えることができる	関連学説を理解し、鍼灸刺激との関係を考えることができる	関連学説について認識している	関連学説について認識していない
到達目標 E					

【教科書】
はりきゅう理論（第3版）東洋療法学校協会編

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
期末試験で100%評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		鍼灸理論 3			年度	2026
英語表記		Acupuncture and Moxibustion Theory 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	刺激と反応	鍼灸刺激による生体反応の概略の理解	1 治療的作用	治療的作用の概略を理解する	3	
			2 調整作用	調整作用を理解する		
			3 誘導作用	誘導作用を理解する		
2	刺激と反応	鍼灸刺激による生体反応の概略の理解	1 防衛/免疫/消炎作用	防衛/免疫/消炎作用を理解する	3	
			2 転調/反射作用	転調/反射作用を理解する		
			3 増血/止血/強心作用	増血/止血/強心作用を理解する		
3	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	自律神経概略の理解	1	自律神経系の構成を理解する	3	
			2 自律神経系の構造と機能	自律神経遠心路の特徴を理解する		
			3	自律神経の化学的伝達と受容体を理解する		
4	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	循環系と鍼灸	1 皮膚循環と鍼灸	皮膚循環と鍼灸について理解する	3	
			2 筋循環と鍼灸	筋循環と鍼灸について理解する		
			3 心拍数および血圧と鍼	心拍数および血圧と鍼について理解する		
5	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	消化器系と鍼灸	1	消化管運動に対する作用について理解する	3	
			2 消化管運動に対する作用			
			3			
6	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	泌尿器系と鍼灸	1	下部尿路機能障害に対する鍼	3	
			2 下部尿路機能障害に対する鍼			
			3			
7	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響	炎症、免疫反応の概略の理解	1 生体防御機構	生体防御反応の概略について理解する	3	
			2 炎症の原因	炎症の原因について理解する		
			3 炎症反応の概略	炎症反応の概略について理解する		
8	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響	急性炎症時の血管反応の理解	1 一過性虚血	炎症時の一過性虚血反応について理解する	3	
			2 血管拡張	炎症時の血管拡張反応について理解する		
			3 血管透過性亢進	炎症時の血管透過性亢進反応について理解する		
9	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響	炎症における疼痛の理解	1 アミン類	内因性発痛物質について理解する	3	
			2 キニン類	内因性発痛物質について理解する		
			3 アラキドン酸代謝産物	内因性発痛物質について理解する		
10	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響	免疫反応の理解	1 白血球遊走	急性炎症時の白血球の反応について理解する	3	
			2 自然免疫	自然免疫について理解する		
			3 獲得免疫	獲得免疫について理解する		
11	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響	灸刺激と炎症反応の理解	1 急性炎症の転帰	急性炎症の転帰について理解する	3	
			2 熱傷の概略	熱傷の概略について理解する		
			3 熱傷と灸	熱傷と灸について理解する		
12	関連学説	関連学説の理解 サイバネティクスの理解	1 関連学説の概略	関連学説の概略を理解する	3	
			2 サイバネティクス	サイバネティクスを理解する		
			3 内部環境	内部環境について理解する		
13	関連学説	ホメオスタシス ストレス学説	1 ホメオスタシス	ホメオスタシスについて理解する	3	
			2 緊急反応	緊急反応について理解する		
			3 ストレス学説	ストレス学説について理解する		
14	関連学説	ストレス学説 レイリー現象 圧発汗反射	1 ストレス学説	ストレス学説について理解する	3	
			2 レイリー現象	レイリー現象について理解する		
			3 圧発汗反射	圧発汗反射について理解する		
15	まとめ	試験の解答解説 治効機序のまとめ	1 試験解説	試験の内容について理解する	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等